

令和元年 7月11日  
西部農林振興センター県央事務所 農業普及部

<b>標 題</b>	集落営農って何？ どうやって作るの？ 何から始めればいいのか？ 集落営農組織化に向けて『川本町集落営農組織化研修会』を開催
------------	--

**(ダイジェスト)**

集落営農の組織化を進めるために『川本町集落営農組織化研修会』を7月3日に開催しました。中山間地域等直接支払協定集落のうち未組織の地域から5集落12名が参加し、「集落営農の基礎」「集落営農組織化への道筋」について、具体性に富んだ講演に耳を傾けました。研修後のアンケートでは「今後話し合いを始めてみたい」と回答された集落もあり、普及部としても法人化に向け積極的に支援していきます。

川本町では集落営農を地域農業の担い手の一つと位置づけて取り組みを進めていますが、集落営農組織は法人化されている3法人のみであり、多くの地域で担い手が不在となっており、集落営農の組織化が必要とされています。

今回、集落営農の組織化を推進するターゲットとして、集落営農を組織化していない集落のうち、中山間地域等直接支払制度で集落協定を結んでいる地域を対象に、『川本町集落営農組織化研修会』を7月3日に実施しました。川本町を通じて町内の中山間地域直接支払い協定13集落へ声をかけたところ、5集落から12名の参加がありました。

研修会は講演と事例発表を中心に、講演では島根県農業技術センター技術普及部の陶山専門農業普及員より「集落営農の組織化・法人化のメリット」と題して、集落営農に関する仕組みや目的、何ができるか？ などの基礎的な内容について講演をいただきました。

事例発表では平成31年3月に法人設立したばかりの、美郷町の農事組合法人田立の渡邊理事より「集落営農組織化への道筋」と題し、実際の集落営農組織設立までの具体的な事例について発表していただきました。あわせて、しまね農業公社の服部相談員より農地集積について、県央県土整備事務所農地整備課の玉木課長からは圃場整備事業について情報提供をいただきました。

梅雨の合間の蒸し暑い中でしたが、具体性に富んだ話題と、地域の将来に向けて、参集者の方々も熱心に聞き入っていました。研修会後のアンケートでは、2集落5名の方より「今後集落で話し合いを始めてみたい」との回答がありました。

今後は組織化に興味のある集落に個別に入っていく、集落の担い手の確保へ向けて働きかけていくこととしています。

